

NAGOYA

イノベーションを  
IIDAから起こそう!

Linear-Chuo-Shinkansen

TOKYO

OVERSEAS

学輪IIDA全体会

知的な好奇心が日本の未来を創る!  
- 唯一無二の知の結節点「飯田」の可能性 -

地域社会の未来と学術研究の可能性をともに考え、学び、楽しもう!

2023 1/21(土) 13:00 -  
@ムトスぷらざ 2・3階

どなたでも自由に  
ご参加いただけます

当日、直接会場へお越しください!

YouTube LIVE

飯田学大学第1部とパネルディスカッションの様子は、オンラインでもご視聴いただけます。



<https://gakurin-iida.jpn.org/>

学輪IIDA 検索

## 13:00 ▶ 飯田学大学第1部

- 「学輪IIDA共通カリキュラムフィールドスタディ参加者による『関係人口・還流人口』創出効果に関する一考察」  
▶フィールドスタディに参加した大学生・高校生の意識変化を調査!  
報告者: 追手門学院大学 藤田武弘教授、和歌山大学観光学部4年 藤井優希さん
- 「新文化会館の整備に向けた検討状況」  
▶新たに建て替え予定の飯田文化会館は、どんなものになる!?  
報告者: 明治大学理工学部建築学科 佐々木宏幸教授
- 「ヒト・コト・モノが集まる創発の場『ムトスぷらざ』の目指すもの」  
▶2022年5月に飯田駅前に誕生した新拠点で、学習と交流を促進!  
報告者: 飯田市公民館 秦野高彦副館長

## 14:30 ▶ パネルディスカッション

『風越のまち飯田から世界へひろがる知の渦列をどのようにして創りうるか』

飯田は、リニアが運ぶ知の風とこの地で育んできた知の風を渦列に変えて、日本はもとより世界に発信する都市となれるか皆と考えてみよう。

コーディネーター: 信州大学 中嶋間多特任教授

パネリスト: 東京藝術大学 北川原温名誉教授 信州大学 林靖人副学長・教授  
和歌山大学 大浦由美教授 南信州観光公社 ダニエル クレマス氏

## 16:15 ▶ 飯田学大学第2部〈全10講座!〉

地域内外の「知」の交流! - プログラム詳細は裏面参照 -

## 18:30 ▶ 自由交流会

当日、現地にて受付をします。あなたも一緒に交流しませんか? (会費:1,000円)

- 会場での新型コロナウイルス感染症予防にご協力ください -

▶マスクの着用 ▶こまめな手指消毒 ▶入場時の検温 (発熱や咳の症状のある方はご参加をご遠慮ください) ▶3密回避  
※今後の感染拡大状況により、内容の一部変更や来場者の入場制限、オンラインに切り替えての実施などをする場合があります。

主催: 飯田市 共催: しんきん南信州地域研究所 お問い合わせ: 飯田市大学誘致推進推進室 0265-22-4511 (内線2252) / idaigaku@city.iida.nagano.jp

～みんなで作る学びの輪～

# 飯田学<sup>🍎</sup>大学

## 第2部 プログラム

- 飯田学<sup>🍎</sup>大学第2部は、全10コマの同時多発型講座！
- 前半と後半を自由に組み合わせてご参加いただけます。
- 各教室は、当日先着順とさせていただきます。

会場	前半 16:15-17:10	後半 17:20-18:15
<b>A</b> 教室 (3階)	<b>ファミリービジネスの復活 ードイツの事例ー</b> 堀口朋亨さん (国士館大学) 地域を支える企業の多くは、同族によって経営されているものが多い。しかし、社会の変化等によって経営環境が厳しくなっている。ドイツにおいてもそれは同様である。ドイツの事例を紹介することで、地域を支える同族企業の経営について考える。	<b>「松下千尋日記」に戦争と平和を探る</b> 田中雅孝さん (飯田市歴史研究所) 松下千尋は旧生田村に生まれ、1920年代の大正デモクラシー期には青年運動に参加したが、1930年代には信州郷軍同志会の軍ファシズム運動に参加するようになった。戦争と平和をめぐる時代状況のなかで、千尋の内面がいかに変容したのか、『日記』を史料に探る。
<b>B</b> 教室 (3階)	<b>海なし県から発信するクジラ進化学</b> 川谷文子さん (飯田市美術博物館) 海にすむクジラの進化過程解明には、化石の検討が不可欠です。伊那谷からもクジラ化石は産出しており、その進化史や太古の海に関する情報を私たちに教えてくれます。じつはクジラ化石の「名産地」である長野県や、隣接する新潟県に関連した化石の系統分類学的研究の一例を紹介します。	<b>飯田における地域産業クラスター創出の可能性を考える</b> 河藤佳彦さん (専修大学) <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">ゼミ形式!</span> 飯田では、ソーシャル・キャピタルの基盤に根差し、優れた技術を持つ企業群が連携・協働し、新たな挑戦分野である航空機産業を展開しています。その波及効果を活かした地域産業クラスター創出の可能性について考えます。
<b>C</b> 教室 (3階)	<b>SDGsの考え方</b> 影浦亮平さん (千葉商科大学) SDGsは、多数の人間が参加して作成されたものなので、様々な思惑が入り込んでいる一方、そこに通底している考え方が見られるのもまた事実です。今回の講座では、SDGsの基本的な発想に注目して、今のグローバル社会の発想のトレンドを考えてみます。	<b>地域ゆかりの作家・菱田春草を 対象とした美術博物館の活動</b> 加納向日葵さん (飯田市美術博物館) 明治時代に活躍した日本画の革新者・菱田春草は飯田の出身です。飯田市美術博物館に就いてから2年、これまでにおこなった菱田春草を対象とした研究活動と教育普及活動を紹介します。特に、地域の小中学校と連携した鑑賞教育について報告したいと思います。
<b>D</b> 教室 (3階)	<b>ヤマト王権と飯田古墳群と馬、 そして東山道</b> 小林正春さん (長野県考古学会) 5世紀ヤマト王権の拠点は和歌山から大坂湾岸に展開し、シナノでも善光寺平から伊那谷南部に拠点が移動し、いずれも前方後円墳の築造実態から明らかである。半島から来た馬が国情の大変革を導き、続く律令期には東山道の拠点として大和朝廷を支えた土地である。	<b>環境問題は心がけで解決するのか</b> 大倉茂さん (東京農工大学) 環境問題はしばしばわれわれの心がけ次第でなんとかなるかのようには語られることがある。でも、ホントに心がけでなんとかなるのだろうか。気候変動対策も待たなしの今、みんなで考えよう。
<b>ホール</b> 教室 (2階)	<b>フィールドスタディの 「学習」から「実践」へ!</b> 松本大学田開ゼミのみなさん 私たちは遠山郷エコ・ジオパークフィールドスタディをきっかけに遠山郷に関わり、その後も地域のみなさんからお話を伺いながら学びを深めています。人、自然や地域文化など魅力いっぱいの遠山郷を発信する方法を、参加者の皆さんと一緒に考えます。	<b>御池山隕石クレーターの研究過程</b> 坂本正夫さん (飯田市美術博物館) 飯田市上村しらびそ高原には、半円形の周囲がデコボコした不思議な地形があります。この地形は宇宙からの小惑星によって形成されたとの仮説を立て、証拠を探る研究をしてきて国際学会誌等に発表しました。その研究過程を振り返ります。